

「債権管理システム等一部改修」に係るシステム改善業務仕様書

1 調達件名

一般社団法人日本家畜商協会（以下「家畜商協会」という）は、各家畜商業協同組合が金融機関から新たな融資方法により資金調達のうえ導入・飼養している牛について、現在の在高及び一定期間内の異動状況を把握するために、家畜改良センターに登録されている牛個体識別データを取得して、金融機関別に会員別に分析編集した情報を各組合にメールで送信するシステム、担保牛確認システムを平成 24 年度に構築するとともに、平成 29 年 11 月に同システムの全面改修を行ったところである。

また、平成 28 年 8 月担保管理料の管理システムを、平成 29 年 3 月に預託牛債権管理システムを、平成 30 年 1 月に預託事業管理システムを構築し、運用を行っているところである。

しかし、上記 4 システムは平成 31 年度に予定されている年号及び消費税率の変更に対応できない。

また、担保牛確認システムは、現状の家畜商協会預託事業の運用実態に適合しない状況が見受けられる。

そのため、平成 30 年度において、上記 4 システムの一部改修及び家畜商協会預託事業用担保牛確認システムの改善（プログラム開発、インストール、ドキュメント作成等）に係る委託業務（以下「委託業務」という。）を行った。

令和元年度は、債権管理システム及び担保管理料システムにおいて、表 1 のとおり更なる改善事項が発生したため、両システムの改善を行うこととする。

2 作業の概要

(1) 業務の目的等

この度、担保牛確認システム等 2 つのシステムの一部改修を行うことにより、家畜商業協同組合（以下「家畜商組合」という）及び家畜商協会は、下記の効果を楽しむことができる。

・家畜商協会預託事業に係る家畜商協会内諸作業の効率化による生産性の向上

(2) 委託業務の概要（詳細は表 1 を参照）

① 以下のシステムを対応できよう改修する。

ア 債権管理システム

なお、同システムは現状のアクセス VBA から Visual_Studio へ変更する。

イ 担保管理料管理システム

② 上記作業に関わるシステムインストール等の運用に係る各種支援。

3 委託業務の推進等

(1) 委託業務の推進

委託業務の推進方法について提案し、家畜商協会の承認を得ること。

(2) スケジュール及び開発体制

令和 2 年 1 月 10 日までにスケジュール及び開発体制を明確にし、以下の資料を提出すること。

① 開発スケジュール（工程別、要員別に記載すること）

② 開発体制（類似業務経験者を記載）

③ 類似業務・開発経験・実績

類似業務（牛トレサビリティ業務、牛流通関連業務、補助金業務）と類似システム開発の実績一覧を提出すること。従事者名を記載すること。

④ 開発にあたっては担保管理、預託牛の管理、牛トレサビリティ等に知見及び開発経験（コンサルティング、システム開発、仕様等）を有している担当者が当たること。類似業務の経験、開発実績の一覧表

⑤ 情報セキュリティ実施基準である「ISO/IEC27001」（ISMS）の認証を証明する書類

⑥ その他「入札の実施について（公告）」の 4 の（2）に定める書類

4 開発方法等

(1) 基本設計書の調整

添付基本設計書の最終確認を行うこと。仕様の内容について変更・追加があるときは基本設計書の変更・追加を行い、更新された基本設計書を納品すること。

また、変更・追加についてはその内容について協会の承認を得ること。

なお、今後とも原則として公募入札により仕様内容の変更・追加を行うこととなるので、他社も基本設計書の内容の変更・追加できるように設計すること。

(2) 基本設計書に基づく詳細設計

① 基本設計書に基づき、家畜商協会の要望・意見を考慮して詳細設計を行うこと。

なお、今後とも原則として公募入札により仕様内容の変更・追加を行うこととなるので、他社も詳細設計書の仕様内容の変更・追加できるように設計すること。

② 本仕様書に記載されていない機能であっても、家畜商協会と受注者が協議し、委託業務遂行上必要と判断されたプログラムについては追加・修正すること。

ただし、変更量が当初の予定より大幅に増加する場合には、協会および受注者が協議し双方の了解で有効とする。

(3) 家畜商協会の確認

① 詳細設計書またはサンプルプログラム等で受注後1か月以内に家畜商協会の承認を得ること。

② その後も進捗状況及び問題点等を適宜報告すること。

5 開発環境等

① 本業務の遂行に必要な開発環境、及びテスト環境等についてはすべて受注者が負担すること。

② 開発に使用するツール、データベース、開発言語等については、受注者が任意に選定する。

6 開発情報の提供

(1) 貸与物件

① 現状の基本設計書を紙媒体および電子媒体で提供する。

② 現状システムのソースプログラム一式

③ その他委託業務の遂行に必要な貸与物件がある場合は、事前に家畜商協会と協議の上、貸与申請を行うこと。

④ 貸与された物件は、厳重な管理を行い、委託業務の完了時に返却すること。

7 納品物

以下の納品物について、電子ファイルは適切な媒体に収録し、紙媒体はファイルに綴じて各2部納品すること。

(1) ドキュメント類 (①～②について、電子ファイル及び紙媒体各2部)

① システム基本設計書

② システム操作説明書

(2) プログラム類 (①～②について、電子ファイル2部)

① ソースプログラム

② 実行プログラム

③ その他

8 履行期限

令和元年3月27日(金)

9 納入場所

家畜商協会および家畜商協会が指定するパソコン（インストール）。

10 利用者への教育・訓練

家畜商協会担当者及び家畜商組合担当者にシステムの運用・管理・維持を行っていく上で必要な教育を家畜商協会が指定した場所・日時に実施（少なくとも3回）すること。

(1) 説明内容等

- ① プログラム内容（データベース更新、処理条件等）
- ② データベースの項目と更新タイミング
- ③ システム運用・操作

(2) その他

上記以外で受注者が必要な事項又は協会からの要望事項があれば実施すること。

ただし大幅な費用が増加すると判断される場合は、協会および受注者で別途協議し双方の合意を得て進めることとする。

11 瑕疵担保責任

(1) 瑕疵担保期間

- ① 納入物の瑕疵担保期間は、検収後1年間とする。
- ② 検収後1年間は、不具合（不具合を解消するための軽微な変更、プログラムの更新を含む。）は無償で対処すること。

(2) 瑕疵発生時の対応

障害について問い合わせを受けた受注者は、速やかに原因究明及び復旧作業に協力しなければならない。

- ・ プログラムの瑕疵による障害発生には、家畜商協会等から連絡を受けた時より24時間以内に一時対応し、その後の処置について家畜商協会担当者の指示を仰ぎ、誠意を持って速やかな解決を図ることとする。
- ・ プログラムの変更作業等は適宜、家畜商協会担当者の了解を得て進めることとする。

(3) 報告

障害対応を実施した際は、文書にて報告を行うこと。

12 家畜商協会の環境によるシステム検収

(1) インストール及び環境設定

開発したシステムのインストール及び動作環境の設定を行うこと。

(2) 検収の実施体制

家畜商協会は、開発を依頼したプログラムの機能等について検収・確認を行う。

(3) 不具合の解消

不具合が確認された場合、受注者は速やかにプログラムを修正し、解消すること。

13 その他

(1) 入札者の要件

- ① 仕様書に示す内容を理解できること（基本設計の内容については説明しない。）。
- ② 開発担当者は類似システムの開発経験、肉用牛及び牛トレサビリティ制度に関する知見を有すること。基本設計書を理解するためにも、牛の生産（繁殖）、肥育（導入）、家畜取引、と畜、資金調達、債権管理など業務特有の知見は必要となる。
- ③ 納入期限内に確実に履行できること。
- ④ 本システム開発のための環境が整っていること（OS、ミドルソフト、）。
- ⑤ 情報セキュリティ実施基準である「ISO/IEC27001」（ISMS）の認証を有していること。
- ⑥ その他「入札の実施について（公告）」の2に定める要件を満たしていること。

(2) その他

検収後1年間は、家畜商協会からの当該システムに係る、運用・操作、プログラムの内容等に関する問い合わせに対処すること。

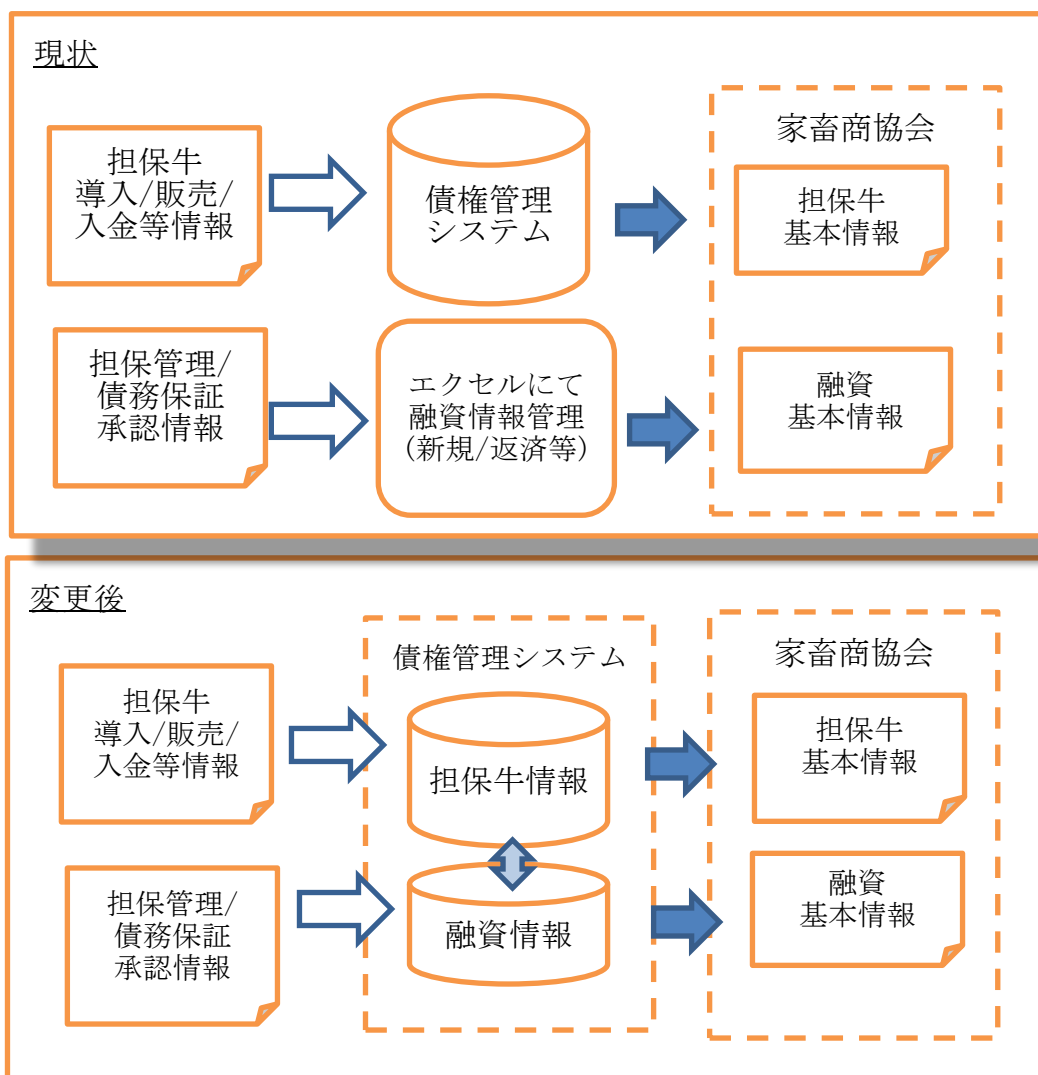
この場合、受注者が家畜商協会に出向いて頂くことがあることに留意ください。

以上

表1 委託業務の内容

項番	項目	内容	記事
1	〔債権管理システム〕 融資情報入出力	<ul style="list-style-type: none"> ・承認番号毎に融資情報を入力 ・修正および削除等の編集 ・リスト出力（協会提出用） ・残高管理 	機能追加
2	〔債権管理システム〕 債権残高集計機能追加 (入金ベース)	<ul style="list-style-type: none"> ・承認番号毎の入金ベースの残高状況出力 (組合員/金融機関毎のシート出力) ・現在別ファイルとなっている残高集計残高 状況(組合員別明細)を同一ファイル化 ※債権残高集計を総合+組合員別明細と 総合+承認番号別集計に分割 	機能追加 改修
3	〔債権管理システム〕 ・入力チェック機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ・販売日/精算日入力の矛盾検出と警告出力 ・精算番号自動発番 	改修
4	〔債権管理システム〕 システムの最適化	<p>プログラム更新の簡素化と最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムとDBを分離。 ・アクセスVBAからVisual-Studioへの変更 ・再配置可能な構成とすること 	改修
5	〔担保管理料システム〕 年度入金予定表の出力	<p>年度入金予定表の出力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定画面追加/組合別の入金予定表出力 	機能追加

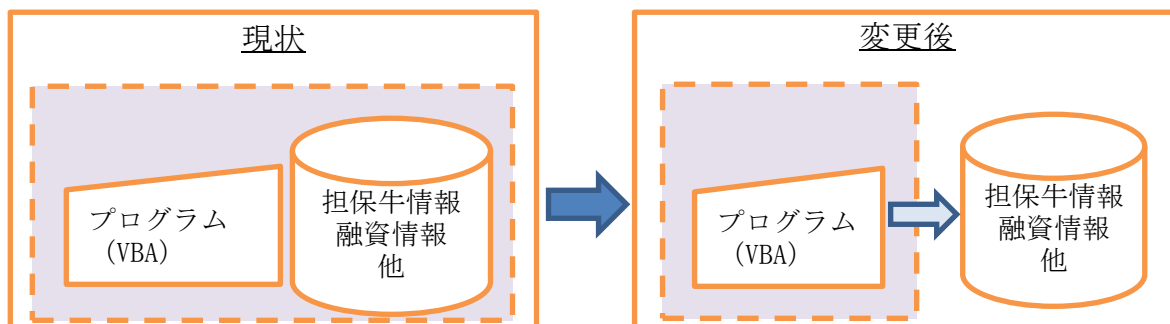
〔参考1〕 融資情報入出力（債権管理システム）



※従来、融資情報は別管理（エクセル等による手動）で、牛個体情報と融資情報との関係付けが出来なかったが、本システムに統合することにより管理の一元化と作業の効率化/確実化を図ります。

[参考2] プログラム更新の簡素化（債権管理システム）

- ・現状：プログラムとデータベースが一体化（アクセス+アクセス VBA）



- (1) プログラムとデータベース (DB) が同一ファイル
- (2) プログラム更新をすると、DB の吸取り操作が必要（黄色塗潰し部分）
- (3) プログラムが操作ミスで書き替えられる危険が常に存在する。
- (4) 今後のマイクロソフト・オフィス製品更新の影響を受けやすい。

- (1) プログラムのみの入替が可能（黄色塗潰し部分）
- (3) プログラムは機械語のため書換不可能。
- (4) 今後のマイクロソフト・オフィス製品更新の影響を受けない。

以上